

意識を高めよう。

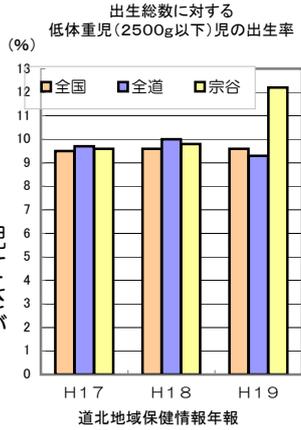
宗谷の現状について

宗谷地域は、2500g以下で誕生する赤ちゃんの割合が、全国・全道と比較しても高くなっています。

また、喫煙率も高い傾向があり、特に女性が国・道よりも高くなっています。

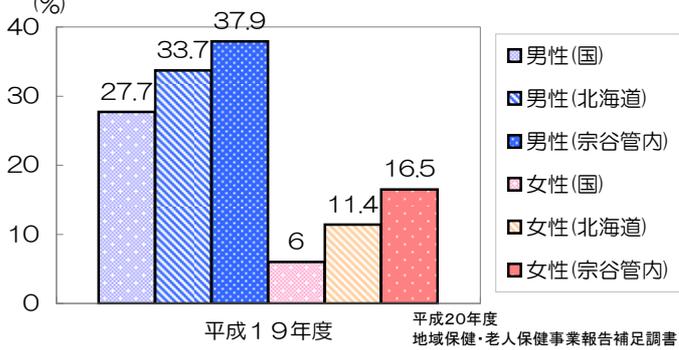


このことから、喫煙率が低体重児の出生に関わっていることが予想され、今後の対策が必要です。



道北地域保健情報年報

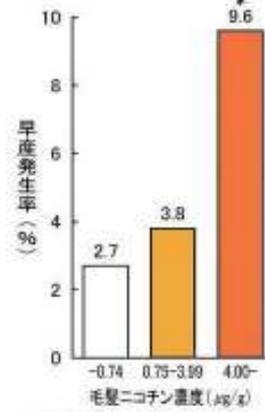
喫煙率 (%)



みんなで協力

受動喫煙を防止しましょう!

ママはタバコを吸わなくても、パパや周囲の人の喫煙による煙を吸うことが、赤ちゃんに悪い影響を与えます。



自然流毛髪ニコチン濃度^{*}の高い非喫煙妊婦では、高率に早産が発生します。家庭や職場で重度の受動喫煙にさらされている女性が早産になった場合、早産の原因のほとんどは受動喫煙にあるといえます。
(*0.74 μg/g以下に対して差が有意)

※ ニコチンにどの程度暴露されたかを判断する指標として、毛髪中の濃度を測定

受動喫煙と早産 (Jaakkola, 2001)

周囲の人に協力してもらうことも大切です!

外出先などで、周囲に喫煙者がいたら、積極的にアピールしましょう。なかなか言い出せない、出来ないという方は、様々な意思表示用のものが作成されているので、目につくところに身につけ、協力を促しましょう。



全国保健所長会「すこやか親子21」推進協議会第3課題幹事会



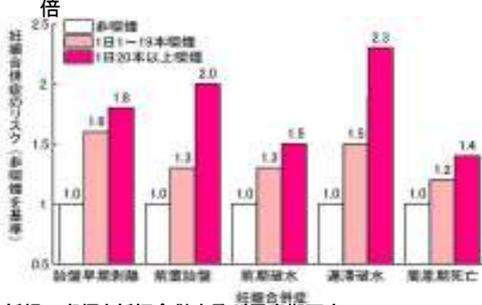
マタニティマーク

赤ちゃんが苦しんでいます...

ママの喫煙でこんな危険があります。

妊娠中の喫煙は、胎盤組織の壊死や早い段階での剥離を起こし、胎盤の酸素欠乏から前置胎盤や早期破水を起こします(早産・流産の原因になります)。

これにより、周産期における胎児、新生児の死亡頻度が増大します。

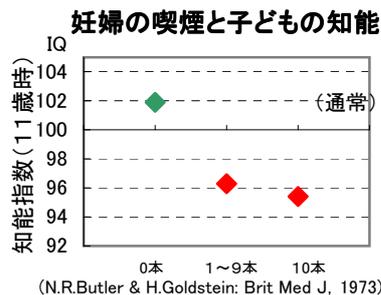


妊婦の喫煙と妊娠合併症及び周産期死亡 (Meyer, 1977; 厚生省, 1988)

子どもの成長後にも問題が...

妊娠中の喫煙で、前述した様な先天性異常がなかったとしても、身長伸びが悪かったり、知能の発達が悪いという報告があります。

また、落ち着きがなく、キレやすい、抑制のきかない子が多いとされ、将来暴力犯罪を犯したり常習犯罪者になる率も高いとされ、これは胎児期にタバコの有害物質により脳が障害を受けるためと予想されます。



どれだけ知ってる?

タバコの害について

タバコの煙には、身体に有害な物質が沢山含まれていますが、赤ちゃんは大人よりも弱いのでとても影響があります。

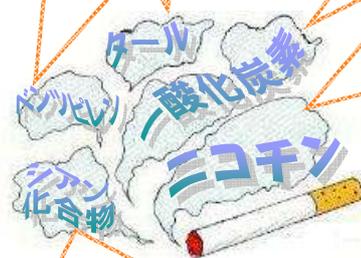
これらのような発がん性物質は、遺伝子に傷をつけ、先天性異常の原因となる可能性があります。特に、妊娠が判明する前後の喫煙が最も影響します。

胎盤を通して、赤ちゃんの血液中のヘモグロビンと結合します。

ヘモグロビンは酸素と結合して、体内に酸素を供給しますが、一酸化炭素の方が結合しやすく、酸素が供給されなくなる為、酸欠になります。

血管を収縮させるので、子宮や胎盤の血流量が低下します。

そのため、酸素や栄養が赤ちゃんに届かなくなり、発育の低下をもたらします。



殺鼠剤(ねずみ駆除の薬)にも利用されるほどの毒物で、胎盤を容易に通過し、体重や脳重量に深刻な影響を及ぼします。

